

報道関係者各位

大阪府 茨木市

～市民の皆さまと一緒に使いながら作っていく“ハーフメイド”の公共空間～
「IBALAB@広場」のオープン及び社会実験の実施について

茨木市は、平成27年末に閉館し昨年解体工事を終えた市民会館の跡地（茨木市役所北側）を、次の工事が始まるまでの約3年半の間、さまざまな実験的な取組みを進めていく「IBALAB@広場（いばらばひろば）」として暫定的に整備し、10月にオープンしました。

工事と工事の間をつなぐ時限的な公共空間は、工事囲いで立ち入り禁止にしたり、駐車場などにしたりすることが多いですが、“一時的”、あるいは“暫定”であることを逆手に、この場所を「思い切ってまちづくりへの挑戦ができる場所」として捉え、市民の意見や、国のストリートデザインなど最新の考え方なども踏まえながら、約1,000㎡の芝生エリアや、スケートボードなども利用可能な舗装エリアなどを備えた、多様な活動ができる空間として整備しました。

また、IBALAB@広場では、広場運営の社会実験を実施します。市内でカフェを営む「たたらば珈琲」さんが、併設された防災倉庫のキッチンスペースを活用して、ランチや自家焙煎珈琲の提供を行うとともに、様々なイベントの企画・実施や備品貸し出しなどの管理運営の一部を担います。

さらに、ニーズ調査を兼ねたにぎわい創出事業として、日替わりでキッチンカーが訪れる社会実験も実施するなど、“まちの実験室LABO”としてさまざまな取組みを進めてまいります。

このような、従来型の「公共空間＝公共が担う」という枠から少しはみだして、ルール作りなどを含めて市民の皆さまと一緒に使いながら作っていく“ハーフメイド”のIBALAB@広場を、ぜひ取材・撮影にお越しいただきますようお願い申し上げます。

1 広場運営社会実験

期 間：令和2年10月12日～令和3年3月31日

名 称：ibaraki common factory

運営者：たたらば珈琲

2 キッチンカー社会実験

期 間：令和2年10月15日～11月12日

出店者：まると、The kitchen、VENDOR、オリンピック食堂

3 参 考

別添チラシ・カフェ外観

【問合せ】

市民会館跡地活用推進課長 向田明弘

電話：072-655-2757

